

令和元年 11 月 8 日  
消 防 庁

## 「うんこドリル」キャラクターと連携した救急分野の広報実施

11月8日（金）より、株式会社 文響社の協力のもと、子供たちに訴求力の高い「うんこドリル」と連携して、救急安心センター事業（#7119）の認知度向上など「救急」をテーマとしたコンテンツを、消防庁ホームページにて公開いたします。

## 1 救急の現状について

昨年（平成 30 年）の救急出動件数は、速報値で約 661 万件、搬送人員数は約 596 万人と、いずれも過去最多となっており、救急車の適正利用は重要な課題です。

救急安心センター事業（#7119）は、救急車を呼ぶか迷った場合に専門家が相談に応じる電話相談窓口であり、救急車の適正利用対策としても有効です。既に全国 15 地域（国民の 43.3%をカバー）で実施されていますが、更なる普及と認知率向上が課題と考えています。

また、救急需要が高まる中、救急車が到着するまでに、居合せた人が応急手当を実施することの重要性が指摘されており、その実施率は 49.9%（平成 29 年中）にまで向上しているものの、今後、一層の普及・啓発が求められています。

## 2 「うんこドリル」と連携した広報のねらい、内容について

救急安心センター事業（#7119）による救急車の適正利用や、応急手当の一層の普及にあたっては、これら取組の必要性を知っていただくことが重要であり、このたび、株式会社 文響社の協力を得て、子供たちに訴求力の高い「うんこドリル※」と連携し、救急安心センター事業（#7119）、応急手当等の認知度を上げることを目的とします。

今回の取組は、消防庁ホームページ内に、特設ホームページを設け、救急安心センター事業（#7119）や応急手当等を題材としたイラストや 4 コマ漫画、動画等の公開を予定しています。

URL : <https://www.fdma.go.jp/publication/#usefulness>

（イメージは別紙、消防庁トップページからもアクセス可能）

今回は、第一弾として、救急安心センター事業（#7119）の利用を呼びかけるイラストを公開し、今後、定期的に内容を追加していくことを予定しています。



※うんこドリル とは

文響社が出版する、全ての例文に「うんこ」を使った学習ドリル。平成 29 年 3 月に第一弾として発売された『うんこ漢字ドリル』（小学 1～6 年生向け）は、発売後約 2 か月で 150 万部を突破。その後、算数ドリルや未就学児向けのものなどラインナップを続々と増やし、現在ではシリーズ 520 万部の発行となっている。

## 【問合せ先】

消防庁 救急企画室 齋藤(健)・堤・名達・柳内

総務課 藤原・塚田

TEL : 03-5253-5111

FAX : 03-5253-7531

## 【別紙】ホームページのイメージ



うんこドリルと消防庁が緊急コラボ！

うんこドリル × FDMA 総務省消防庁  
住民とともに Fire and Disaster Management Agency

救急隊に入隊したぞい！

うんこ先生

- 救急お役立ち ポータルサイト
- ▶ 短編アニメーション
  - ▶ 救急車利用リーフレット
  - ▶ 救急受診ガイド2016年版
  - ▶ 紙芝居
  - ▶ 救急情報シート
  - ▶ 救急事故防止 - 救急事故防止
  - ▶ 救急事故防止 - リーフレット

まずは、#7119のコラボからスタートしてみるぞい！

